

「心をつなぐ家庭読書」

～佐賀県武雄市での取組～

講師：武雄市立御船が丘小学校 主幹教諭 中島 進氏

期日：11月7日（金）

午後7時から

場所：町民センター2階会議室

武雄市の教育スタイル ICT（タブレット授業）

平成19年伊万里市立黒川小学校勤務時に家読と出会い、黒川小学校で家読の実践を行う。平成20年からは家読推進プロジェクト事務局長となり、全国の家読活動の取りまとめを行う。平成21年に家読推進プロジェクト公式ホームページ通称「うちどく.com」を設立し、全国の家読情報を日々配信している。平成22年に学級における家読の取組の一つである「リレーうちどく」を体系化し、以来その実践を勤務校で継続し、平成23年には「リレーうちどく」の取組をまとめた論文（日教弘教育論文）が全国奨励賞となる。これまで、「学校における家読の進め方」「全国の家読事情」という演題で講演活動を各地で行っている。

また、平成17年から作詞活動を行い、平成20年に家読テーマソング「こころつないで～read and talk～」を作詞する。以来、絵本のテーマをイメージした曲作りを続け、家読推進プロジェクト事務局メンバーと共に、読み語り講演「音楽と絵本で綴る家読の世界」を各地で行っている。

家読（うちどく）とは...

「家読（うちどく）」とは「家庭読書」の略語で、「家族ふれあい読書」を意味します。この「家読（うちどく）」は、「朝読」（朝の読書の略）の家庭版として考えられたものです。家族で本を読んでコミュニケーションし、「家族の絆づくり」することを目的としています。その背景には、電子メディアの弊害をはじめとした今の時代を象徴する社会的問題、親が子を、子が親をあやめるといった昔の世の中では考えられない家族の問題があります。この「家読（うちどく）」はバランスが崩れてきた家族のあり方を問いただすものです。

参加無料

雄武町教育委員会 TEL84-4240